

対策中級コース



研修の目的



昨年度まで実施していた3科(医学科・放射線学科・保健看護学科)の結核対策合同コースをリニューアルし、今年度より新設したコースです。分子疫学調査を活用した接触者健診の実施や結核集団発生の対策に対応する力を習得するとともに、服薬支援を強化することを目的とします。地方衛生研究所のかたもご参加いただけます。



987 658

研修コース紹介



研修コース名・開催期間	対象	研修内容
対策中級コース 平成31年 1月21日～25日	保健所の結核担当者(医師、診療放射線技師、保健師、薬剤師、臨床検査技師等)、地方衛生研究所の結核担当者等	結核対策に関し、より高度な内容の講義と、分子疫学調査の活用、接触者健診や集団発生、外国出生者の対応など、事例を基にした多職種によるグループワーク等を通して、接触者対応への実践を深めていただくコースです。 既に、医師・対策コース、結核対策とX線画像コース・医療監視コース、保健師・対策コースに参加された方、あるいは同程度の知識と経験のある方を対象としています。



持ち物等



自己紹介、グループ討議を予定しています。自己紹介資料、保健所の事業概要、集団感染事例等をお持ちください。詳細は事前にお送りする資料をご確認ください。



チェックポイント



「対策中級コース」は、結核対策を担当する様々な職種の方々も受講が可能です。お気軽にお問い合わせください。

